



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

クウェイト：米財務省がテロ組織を支援したクウェイト人3人を制裁リストに追加

8月6日、米財務省は、シリアとイラクのテロ組織を支援したとして、クウェイトのシャーフイー・アジュミー、ハッジヤーズ・アジュミー、アブドウルラフマーン・アニージー（アルバニア人との報道もあり）の3人を制裁リストに追加した。制裁により、彼らが米国に保有する財産は凍結され、米国市民・米国居住者は彼らとビジネスを行うことを禁止される。

米財務省の発表によると、シャーフイー・アジュミーは、シリアの戦闘員への寄付を募るキャンペーンを、ソーシャルメディアを通じて何度も実施。クウェイトにおけるヌスラ戦線への最も活動的な資金提供者である。2014年7月には、公式にヌスラ戦線への資金提供を認めている。また、武器の購入・密輸も行っていった。ハッジヤーズ・アジュミーはクウェイト・シリア間を定期的に移動し、ヌスラ戦線に資金を運んでいた。クウェイト人を組織の指導層につけることと引き換えに、財政支援することで合意。2014年1月には、シリア中部のホムスでの戦闘のための資金を提供した。アニージーは、2008年頃からイラクの「イスラーム国」と関係を持っており、クウェイトからの送金、シリアからイラクへの外国人戦闘員の越境の財政支援を行っていた。また、クウェイトからアフガニスタンへの戦闘員派遣にも従事していた。

7日、サーリム駐米クウェイト大使は、「クウェイトはテロとの闘いに従事してきており」、「今後も米国及び国際社会との協力を継続していく」と述べた。コーエン米財務次官は、クウェイト政府に対し、テロ資金の規制のための更なる努力を要請した。

評価

今回制裁の対象となったシャーフイー・アジュミーとハッジヤーズ・アジュミーのTwitterのアカウント（現在は凍結）は80万人以上のフォロワーがおり、Twitterを通じた「シリア人やパレスチナ人への支援」と称した募金の呼びかけが度々行われていた。国内でもよく知られた存在であり、宗教指導者からも活動の支援を受けていた。公式にはヌスラ戦線や「イスラーム国」を否定していたものの、同組織のメンバーと同席している映像が出回ったり、「イスラーム国」によるモスル制圧をスンナ派による革命と見なしたりするなど、制裁以前から事実上の支援者として見なされてきた。

クウェイト政府は、今回の駐米クウェイト大使の発言にあるように、テロ活動に資金が提供されることに反対の立場である。しかし、民間人によって、クウェイトを始めとする湾岸諸国からシリアやイラクの武装勢力に資金が流れており、これに対する有効な対応策は講じられていない。

（村上研究員）

©本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 公益財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799